

THE KANSAI UNIVERSITY NEWS

関西大学通信

関西大学広報委員会 大阪府吹田市山手町3丁目

大阪の都市景観 変わるもの変わらぬもの

堀や運河を骨格に

将来に大きな可能性

永井規男



伝法溜 (大阪市此花区伝法町五丁目)

英国の西部にバスという魅力に富んだ都市がある。これは英国内で唯一の温泉湧出地であって、ローマ人が温泉を利用した浴場を造り、以来、古代・中世・近世を通じて英国有数の保養都市として栄えてきた。バスを訪れる人々は、よく保存されたローマ時代の浴場の遺跡に感心させられるのであるが、バスの見所はこれだけではない。むしろ、十八世紀後半に識見のある建築家と建築家によって開発された市街地の典雅で絵画的なたたずまいの方に心を強く惹きつけられるのである。

都市が真に近代都市たろうと志す限りは、街づくりの基本的な発想をこそ、西欧の景観を軸とするものに転換させる必要がある。大く豊かな街づくりといふことがいわれる。大抵において、その豊かさとは緑を育てたり、公共施設を殖したりといったことである。それはそれで大切なことであるが、またいさか来り、城の権威性を強調するために、城に庶民を合わせたか、意図した景観がなされていく。しかしそれはむしろ特殊の例であって、大部分の町や村が示した景観は決して作られたものとはいえない。技術社会化以前のの、材料の単調さと画一的な造作が、家屋・橋・道などの形をなした。西

すことが重要である。堀や運河の水辺を骨格として、より優れた景観を構築してこそ、大阪という街はその内側から個性を取り戻すように思えてならない。(工学部教授)

かないのである。われわれが意識して進み出す景観としては、周囲がわけていこうとする。いかえ、これまでも西欧風園とて、如何に自然に似せてつゝ、かに苦心しているところを見る。これは他律的、くだいていばあな任せである。そうはいっても日本の古い町や村に美しい景観をつくり出しているものがあるではないか、と反論されるかも知れない。それを否定するつもりはない。たしかに城下町では、城の権威性を強調するために、城に庶民を合わせたか、意図した景観がなされていく。しかしそれはむしろ特殊の例であって、大部分の町や村が示した景観は決して作られたものとはいえない。技術社会化以前のの、材料の単調さと画一的な造作が、家屋・橋・道などの形をなした。西

をなした。西の都市においては景観構成といふことを基礎として街づくりが行われていることである。いかえ、これまでも西欧風園とて、如何に自然に似せてつゝ、かに苦心しているところを見る。これは他律的、くだいていばあな任せである。そうはいっても日本の古い町や村に美しい景観をつくり出しているものがあるではないか、と反論されるかも知れない。それを否定するつもりはない。たしかに城下町では、城の権威性を強調するために、城に庶民を合わせたか、意図した景観がなされていく。しかしそれはむしろ特殊の例であって、大部分の町や村が示した景観は決して作られたものとはいえない。技術社会化以前のの、材料の単調さと画一的な造作が、家屋・橋・道などの形をなした。西

高度技術社会の未来予測をする。次の五つの部門で新技術が台頭すると期待される。それは(一)電算機の情報技術、(二)新素材、(三)ロボット、(四)人工知能、(五)バイオテクノロジー。バイオテクノロジーは医薬品製造に利用、将来植物工学に発展する。健康医療技術部門では免疫学、抗ヒールズ剤、新しい医療診断技術(例えば超音波診断、核磁気イメージングなど)、脳の研究(脳薬理、記憶増進、分裂病薬)などが期待される。以上のミラー博士の未来予測が示すように、大規模な技術改革が進行し、それに伴い社会経済状態も急激な変化に遭遇するものと推えられる。その変化に適応できる基礎的能力を養うことが肝要である。

本号の内容

- 1面 大阪の都市景観 千里眼 2面 関大生のプロフィール 昭和57年度学生生活実態調査 新入生歓迎行事 第6回総合関関戦 学生諸団体行事予定表 4面 人事異動 学位記授与 名誉教授の称号授与 「しない」「させない」迷惑駐車 昭和59年度入生試験実施概要 関西四大学図書館の相互利用 航空部優勝 教育懇談会日程 工学部新入生の父母との進路指導懇談会 学園歌カセットテープ完成 中国社会科学部から来学 外国人留学生歓迎懇談会開催 法学部新入生歓迎講演会 文学部新入生歓迎講演会 文学部映画と講演の会 図書館大よび 5・6・7・8面 昭和58年度関西大学予算について 9面 昭和57年度就職状況について 「婦人の家」と「阪日小伝」 10・11面 ニュー・マガジンを読む 12面 公開講座のお知らせ 世界の大学 新刊紹介 編集後記



人事異動

式が行われ、末政は留學教員の名心として、清水一... 教授、清水一、末政、清水一、末政、清水一...

15日からスタート

教育懇談会の日程決まる 今度の教育懇談会の日程が、五月十五日(日)からスタート...

三宅川元文学部教授に 名誉教授の称号授与

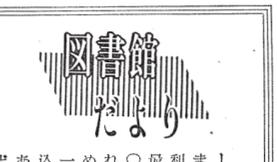


三月二十日(土)正午から、三宅川元文学部教授に、名誉教授の称号授与...

昭和59年度 実施概要決まる

Table with 4 columns: 学部, 学級, 人数, 備考. Lists details for the 1979 academic year implementation.

学生生活情報



現在建設中の総合図書館の予定... 総合図書館の新しいシステム...

自動車・単車による 通学・通勤は全面禁止

以前から、大宮方面の通学・通勤は全面禁止... 自動車・単車による通学・通勤は全面禁止...

関西大学の図書館 相互利用制度更に充実

相互利用制度更に充実 関西大学の図書館相互利用制度更に充実...

航空部が団体優勝

航空部が団体優勝 学生グライダー競技選手権大会...

27人の留学生が出席

27人の留学生が出席 新入留学生歓迎会...

予算編成方針

副理事長 稲野治兵衛 予算編成方針 稲野治兵衛副理事長の演説...

関西大学昭和58年度予算について

関西大学昭和58年度予算について 稲野治兵衛副理事長の演説...

国際交流促進と充実 情報化時代に即応した教育研究

国際交流促進と充実 情報化時代に即応した教育研究 稲野治兵衛副理事長の演説...

総合図書館への 移転準備に着手

総合図書館への移転準備に着手 総合図書館の移転準備に着手...

Table I: 教職員数 (Faculty and Staff Numbers) for 58 and 57 degrees.

Table II: 学生数 (Student Numbers) for 58 and 57 degrees.

Table III: 学級編成 (Class Composition) for various levels.

全学的に二大教育目標... 総合図書館の新しいシステム... 航空部が団体優勝... 27人の留学生が出席...

# 昭和58年度 収支予算書

基 本 金	△ 2,818,715	△ 2,794,750	△ 2,395,9
特 定 基 本 金	△ 1,917,200	△ 1,029,825	838,105
<b>消費収入の部合計</b>	<b>14,400,860</b>	<b>14,090,613</b>	<b>310,237</b>
<b>消費支出の部</b>			
科 目	58年度予算	57年度予算	増 減
人 件 費	10,996,634	10,011,287	985,347
教 員 人 件 費	6,881,056	6,497,929	383,127
職 員 人 件 費	3,661,962	3,466,631	195,331
役 員 報 酬	44,274	44,274	0
退 職 給 与 引 当 金 繰 入 額	0	258	△ 258
	409,342	2,195	407,147
教 育 研 究 経 費	3,630,098	3,455,445	174,621
旅 費 交 通 費	274,257	255,589	18,668
消 耗 品 費	820,485	718,493	101,992
製 刷 費	202,456	213,050	△ 10,594
印 刷 費	16,615	16,628	△ 13
通 信 運 搬 費	64,830	66,485	△ 1,655
光 熱 水 費	287,295	295,180	△ 7,885
補 助 費	138,315	116,094	22,221
広 告 費	3,950	3,750	200
減 価 償 却 額	59,895	57,044	2,851
修 繕 費	508,717	493,950	14,767
除 却 費	1,460	1,336	△ 118,76
保 険 料	9,381	8,775	606
寄 託 費	400,234	394,174	6,060
貸 借 料	165,603	140,146	25,457
租 税 公 課	407	409	△ 2
支 払 手 数 料 ・ 報 酬	3,169	2,765	404
交 際 費	7,860	7,860	0
会 議 費	2,483	30,424	△ 1,941
雑 費	2,946	32,883	△ 3,387
管 理 経 費	734,247	610,802	123,445
旅 費 交 通 費	3,924	29,715	8,209
福 利 厚 生 費	26,742	22,851	3,891
平 均 消 耗 品 費	4,954	4,491	463
印 刷 費	5,975	4,721	1,254
製 刷 費	5,639	44,307	11,332
通 信 運 搬 費	300	142	158
光 熱 水 費	45,066	18,245	27,121
補 助 費	15,429	15,728	△ 299
広 告 費	10,110	10,110	0
減 価 償 却 額	5,261	4,868	3,933
修 繕 費	4,593	4,628	△ 85
除 却 費	4,292	4,204	948
保 険 料	1,400	700	700
寄 託 費	1,480	1,569	△ 89
貸 借 料	18,922	14,002	4,920
租 税 公 課	4,412	4,880	△ 468
支 払 手 数 料 ・ 報 酬	14,903	12,632	2,271
交 際 費	5,216	10,628	△ 5,412
会 議 費	23,612	20,120	3,492
雑 費	11,360	11,000	360
	30,000	2,500	500
	9,925	9,935	△ 10
借 入 金 等 利 息	506,021	297,010	209,011
借 入 金 利 息	506,021	297,010	209,011
資 産 処 分 差 額	17,732	2,125	△ 3,483
建 物 処 分 差 額	0	1,846	△ 1,846
教 育 研 究 用 機 器 備 品 処 分 差 額	1,382	1,754	△ 372
そ の 他 の 機 器 備 品 処 分 差 額	1,105	1,311	△ 206
回 寄 金 処 分 差 額	1,000	500	500
車 輛 処 分 差 額	1,799	4	1,795
[予 備 費]	70,000	70,000	0
<b>消費支出の部合計</b>	<b>15,954,700</b>	<b>14,465,759</b>	<b>1,488,941</b>
当 年 度 消 費 支 出 超 過 額	1,553,850	375,146	1,178,704
前 年 度 残 留 消 費 支 出 超 過 額	88,469	51,323	37,146
翌 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	244,239	88,469	1,553,850

拡 充 基 金 引 当 特 定 資 産 へ の 繰 入 支 出	191,000	1,026,365	△ 835,365
奨 学 基 金 引 当 特 定 資 産 へ の 繰 入 支 出	720	678	42
教 育 振 興 財 団 基 金 引 当 特 定 資 産 へ の 繰 入 支 出	0	2,782	△ 2,782
そ の 他 の 支 出	1,051,100	1,165,229	△ 114,129
貸 付 金 支 払 支 出	261,100	259,000	1,500
前 期 未 払 金 支 払 支 出	400,000	539,687	△ 139,687
修 学 旅 行 費 預 り 金 支 払 支 出	50,000	50,000	0
そ の 他 の 預 り 金 支 払 支 出	180,000	193,942	△ 13,942
前 払 金 支 払 支 出	118,000	88,000	30,000
貯 蔵 品 支 出	2,000	2,000	0
そ の 他 の 支 出	40,000	32,000	8,000
[予 備 費]	100,000	100,000	0
資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 1,790,000	△ 519,000	△ 1,271,000
期 末 未 払 金	△ 1,700,000	△ 400,000	△ 1,300,000
前 期 未 払 金	△ 88,000	△ 116,908	28,908
前 期 未 貯 蔵 品	△ 2,000	△ 2,092	92
次 年 度 繰 越 支 払 資 金	3,704,632	4,702,814	△ 998,182
<b>支出の部合計</b>	<b>27,257,998</b>	<b>25,036,842</b>	<b>2,221,154</b>

## 消費収支予算書

昭和58年4月1日から  
昭和59年3月31日まで

(単位 千円)

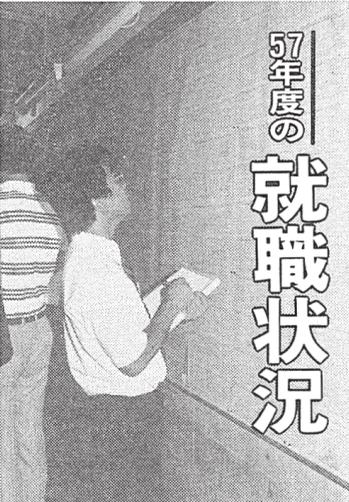
科 目	58年度予算	57年度予算	増 減
学 生 生 徒 等 納 付 金	11,776,110	11,448,997	327,113
授 業 料	8,044,526	7,518,870	525,656
入 学 金	1,819,400	2,201,750	△ 382,350
実 験 ・ 実 習 料	311,975	308,057	3,918
維 持 拡 充 資 金	1,600,209	1,423,320	176,889
手 数 料	1,313,687	1,434,337	△ 120,670
入 学 検 定 料	1,305,160	1,426,640	△ 121,241
選 考 料	482	492	△ 10
再 入 学 金	566	611	△ 45
試 験 料	400	412	△ 12
証 明 手 数 料	5,826	5,831	△ 5
そ の 他 の 手 数 料	1,233	590	643
寄 付 金	118,280	117,570	710
特 別 寄 付 金	101,000	101,250	△ 250
現 物 寄 付 金	17,280	16,320	960
補 助 金	2,765,947	3,128,212	△ 362,265
国 庫 補 助 金	2,482,660	2,845,400	△ 362,740
地 方 公 共 団 体 補 助 金	276,987	279,112	△ 2,125
学 術 研 究 振 興 資 金	6,000	3,700	2,300
資 産 運 用 収 入	1,103,165	980,910	122,255
退 職 給 与 引 当 金 引 当 特 定 資 産 運 用 収 入	243,000	267,000	△ 24,000
減 価 償 却 引 当 金 引 当 特 定 資 産 運 用 収 入	4,200	4,000	200
総 合 国 立 館 庫 資 金 引 当 特 定 資 産 運 用 収 入	98,000	84,000	14,000
校 地 拡 充 資 金 引 当 特 定 資 産 運 用 収 入	82,000	98,000	△ 16,000
厚 生 施 設 建 設 資 金 引 当 特 定 資 産 運 用 収 入	22,000	17,000	5,000
電 気 供 給 施 設 建 設 資 金 引 当 特 定 資 産 運 用 収 入	18,000	18,000	0
年 金 基 金 引 当 特 定 資 産 運 用 収 入	24,000	24,000	0
拡 充 基 金 引 当 特 定 資 産 運 用 収 入	191,000	108,000	83,000
教 育 振 興 財 団 基 金 引 当 特 定 資 産 運 用 収 入	39,500	40,300	△ 800
奨 学 基 金 引 当 特 定 資 産 運 用 収 入	805	770	35
受 取 利 息 ・ 配 当 金	310,000	264,900	45,100
施 設 設 備 利 用 料	32,860	18,940	13,920
雑 収 入	89,688	84,100	5,588
補 助 活 動 収 入	65,968	60,349	5,619
付 属 事 業 収 入	23,700	23,811	△ 111
雑 収 入	244,788	721,008	△ 476,220
私 学 退 職 金 財 団 交 付 金	178,330	256,757	△ 78,427
退 職 給 与 引 当 金 取 崩 し 額	0	396,173	△ 396,173
雑 収 入	66,438	68,078	△ 1,640
帰 属 収 入 合 計	17,411,285	17,915,194	△ 503,909
基 本 金 繰 入 額 合 計	△ 3,010,435	△ 3,824,581	814,146

繰 越 支 払 資 金	4,702,814	5,668,924	△ 966,110
収 入 の 部 合 計	27,257,998	25,036,842	2,221,154
出 の 部			
科 目	58年度予算	57年度予算	増 減
件 費 支 出	10,882,572	10,483,937	378,635
教 員 人 件 費 支 出	6,881,056	6,497,929	383,127
職 員 人 件 費 支 出	3,661,962	3,466,631	195,331
役 員 報 酬 支 出	44,274	44,274	0
退 職 金 支 出	275,280	47,510	△ 199,823
研 究 経 費 支 出	3,024,908	2,875,201	149,707
旅 費 交 通 費 支 出	274,257	255,589	18,668
消 耗 品 費 支 出	814,285	717,293	96,992
印 刷 費 支 出	202,456	213,050	△ 10,594
製 本 費 支 出	16,615	16,628	△ 13
通 信 運 搬 費 支 出	64,830	66,485	△ 1,655
光 熱 水 費 支 出	287,295	295,180	△ 7,885
補 助 費 支 出	138,315	116,094	22,221
広 告 費 支 出	3,950	3,750	200
修 繕 費 支 出	508,717	493,950	14,767
除 却 費 支 出	1,460	1,336	△ 118,76
保 険 料 支 出	9,381	8,775	606
寄 託 費 支 出	400,234	394,174	6,060
貸 借 料 支 出	165,603	140,146	25,457
租 税 公 課 支 出	407	409	△ 2
支 払 手 数 料 ・ 報 酬 支 出	3,169	2,765	404
交 際 費 支 出	68,095	66,410	1,685
会 議 費 支 出	7,860	7,860	0
金 議 費 支 出	28,483	30,424	△ 1,941
雑 費 支 出	2,946	32,883	△ 3,387
運 送 費 支 出	688,394	564,774	123,530
旅 費 交 通 費 支 出	37,924	29,715	8,209
福 利 厚 生 費 支 出	2,674	2,851	3,891
年 金 支 出	4,954	4,491	4,622
消 耗 品 費 支 出	59,753	47,212	12,541
印 刷 費 支 出	5,639	44,307	11,332
製 本 費 支 出	300	142	158
通 信 運 搬 費 支 出	4,536	18,245	27,121
光 熱 水 費 支 出	15,429	15,728	△ 299
補 助 費 支 出	10,110	10,110	0
広 告 費 支 出	5,261	4,868	3,933
修 繕 費 支 出	4,292	4,204	948
除 却 費 支 出	1,400	700	700
保 険 料 支 出	1,480	1,569	△ 89
寄 託 費 支 出	18,922	14,002	4,920
貸 借 料 支 出	4,412	4,880	△ 468
租 税 公 課 支 出	14,903	12,632	2,271
支 払 手 数 料 ・ 報 酬 支 出	5,216	10,628	△ 5,412
交 際 費 支 出	23,612	20,120	3,492
会 議 費 支 出	11,360	11,000	360
金 議 費 支 出	30,000	2,500	500
雑 費 支 出	9,925	9,935	△ 10
借 入 金 等 利 息 支 出	506,021	297,010	209,011
借 入 金 利 息 支 出	506,021	297,010	209,011
借 入 金 等 返 済 支 出	98,010	70,740	19,600
借 入 金 返 済 支 出	75,350	55,350	20,000
学 校 債 返 済 支 出	14,450	15,390	△ 940
設 備 支 出	7,149,980	1,431,900	5,718,080
土 地 支 出	155,300	0	155,300
建 物 支 出	695,000	5,500	640,500
構 築 費 支 出	60,980	104,900	△ 43,920
施 設 利 用 権 支 出	12,000	0	12,000
敷 金 ・ 保 証 金 支 出	2,000	0	2,000
建 設 仮 勘 定 支 出	6,116,700	1,272,500	4,844,200
借 入 金 支 出	640,749	542,442	98,307
教 育 研 究 用 機 器 備 品 支 出	39,454	33,817	5,637
そ の 他 の 機 器 備 品 支 出	2,415	983	1,433
回 寄 金 支 出	20,680	198,280	8,580
車 輛 支 出	10,070	100	9,970
電 話 加 入 権 支 出	200	410	△ 210
運 送 費 支 出	421,720	2,885,125	△ 2,263,405

昭和57年度就職状況

Table showing employment statistics for 1977, categorized by faculty (Faculty 1, Faculty 2) and department (Law, Literature, Economics, etc.).

就職部



57年度の就職状況

Text describing the employment situation for the 1977 academic year, including statistics and commentary on the job market.

前年上回る好成績 55.5%が大手企業に

Text detailing the success of the employment department, noting that 55.5% of graduates secured positions with large companies.

Text providing information for students, including details about the career counseling process and contact information.

懸案の校地拡充

施設設備をより一層充実

Introductory text for the article on campus expansion and facility improvements.

施設設備

Table listing various facility improvement projects, their locations, and associated costs.

資金収支予算

Table showing the financial budget for the university, including income and expenditure sections.

二収支予算の概要

Summary text explaining the details of the two-budget system.

学生生徒納付金 収入は伸び悩み

補助金収入は大幅減少

Text discussing the challenges of declining student and staff payment income and a significant decrease in grant income.

Text related to the 'Women's Home' section, providing information about the organization and its activities.



婦人家「居る信」

Text describing the 'Women's Home' and its role in supporting women, including a mention of a recent death.



本学の全般的計画の  
一つの柱は「開かれた  
大学」構想である。そ  
れを遂げる各種の公  
開講座が、つぎのよう  
に開催される。読者の  
熱心な参加を期待した  
い。詳細については問  
い合わせは関西大学広  
報課まで。

# 公開講座のお知らせ

今年で12年目



充実した内容に定評がある  
「吹田市民大学教養講座」

## 第12回吹田市民 大学教養講座

本学と吹田市教育委員会との共  
催で開催されてきた「吹田市民大  
学教養講座」は今年で12年目を  
迎えた。当初は「教育」と「文  
学」の二講座から出発して、その

### ▼現代生活と人間心理

日 程	講 座 名	講 師
五月二十一日	やる気の心理	社会学部教授 田中 君美
六月 二日	心とからだ	社会学部教授 太城 廣吉
六月 九日	カウンセリング的対話	社会学部教授 高橋 雅春
六月 十六日	人間関係の心理	社会学部教授 野村 昭
六月 二十三日	人助けの心理	社会学部教授 高木 修
六月 三十日	消費者の心理	社会学部教授 佐々木 士郎二
七月 七日	性格の理解	社会学部教授 辻岡 美延

※時間は午後二時～二時五十分

### ▼転換期の日本経済とくらし

日 程	講 座 名	講 師
五月二十日	円高・円安とくらし	商学部教授 田中 茂和
五月二十七日	行財政改革とくらし	商学部教授 横田 茂
六月 三日	情報化時代と高等教育	社会学部教授 元木 久
六月 十日	マイコン時代とくらし	商学部教授 中辻 卯一
六月 十七日	日・欧米経済摩擦とくらし	商学部教授 生田 靖
六月 二十四日	大型開港税と税制改革	社会学部教授 吉田 達雄
七月 一日	今日の不況と消費者意識の変化	社会学部教授 市川 浩平
七月 八日	今日の労働経済と労働関係	社会学部教授 小林 英夫

※時間は午後二時～二時五十分

### 総合 テーマ 東アジアにおける古代王権の形成

## 泊園記念講座

泊園書院は江戸時代末期、徂徠  
の泰斗藤沢東暉が大坂町人の教  
養を高めるために創設した漢学塾  
である。その遺構は、第四代黄陂  
先生の命懸けで復興された。現在  
は「泊園文庫」として本学図書館  
の貴重文庫の一  
つとなっている。

泊園書院は江戸時代末期、徂徠  
の泰斗藤沢東暉が大坂町人の教  
養を高めるために創設した漢学塾  
である。その遺構は、第四代黄陂  
先生の命懸けで復興された。現在  
は「泊園文庫」として本学図書館  
の貴重文庫の一  
つとなっている。

## 第9回飛鳥 史学文学講座

本学と縁の深い明日香を舞台  
に、日本の古代文化を多角的にと  
りあげた「飛鳥史学文学講座」  
が、関西大学飛鳥文化研究所と明  
日香中央公民館との共催により  
開かれ、好評を博している。

今年開催の第二十三回記念講座  
は、謎に包まれた古代王権の成  
立過程を、次の三先主方により、  
東アジア全体の広い視野から解明  
して開講されている。

日 程	講 座 名	講 師
三月 四日	飛鳥飛鳥半世紀をふりかえりて	文学部教授 網干 遊教
三月 十一日	高門の歌	文学部教授 木下 正俊
三月 十八日	聖武天皇を敬慕する大伴家持	文学部教授 上井 久義
三月 二十五日	古代人の民俗信仰	文学部教授 上井 久義
四月 一日	飛鳥飛鳥半世紀をふりかえりて	文学部教授 網干 遊教
四月 八日	飛鳥時代の国際感覚	文学部教授 横田 健一
四月 十五日	平達露出・入水譚	文学部教授 青木 晃
四月 二十二日	飛鳥朝 貴人の恋	文学部教授 有坂 隆道
四月 二十九日	桂陣の建築と庭園	文学部教授 神姫 忍
五月 六日	皇位継承法の視座から	文学部教授 山田 幸一
五月 十三日	皇位継承法の視座から	文学部教授 山田 幸一
五月 二十日	日本古代の家畜	文学部教授 香融
五月 二十七日	万葉集の法律	文学部教授 津川 正幸
六月 三日	古代人の生活と律令	文学部教授 奥村 郁三
六月 十日	飛鳥飛鳥半世紀をふりかえりて	文学部教授 網干 遊教
六月 十七日	飛鳥飛鳥半世紀をふりかえりて	文学部教授 網干 遊教
六月 二十四日	飛鳥飛鳥半世紀をふりかえりて	文学部教授 網干 遊教
七月 一日	飛鳥飛鳥半世紀をふりかえりて	文学部教授 網干 遊教

※時間は午後一時～三時

### ▼法と政治をめぐる「常識」のうらも

日 程	講 座 名	講 師
五月二十日	住民の地域社会への関心	法学部教授 田村 浩一
五月二十七日	取引約款にせよしほられるか	法学部教授 栗田 和彦
六月 三日	日本の選挙はいま…	法学部教授 上田 惟一
六月 十日	近所付き合いと法律	法学部教授 高森 八四郎
六月 十七日	訴訟きらいと訴訟好き	法学部教授 市川 訓敏
六月 二十四日	ヨーロッパは変わるか	法学部教授 土谷 寛爾
七月 一日	刑罰の虚と実	法学部教授 山中 敬一

※時間は午前十一時～十二時十分

## 経済・政治研 究所公開講座

本学学生、一般社会人を対象と  
した関西大学経済・政治研究所主  
催の「経済・政治研究所公開講  
座」が今年も開講され、好評を博  
している。

## 産業セミナー

地域社会に対する奉仕と啓蒙の  
ため、中小企業の経営者ほか一  
般社会人を対象とする「産業セ  
ミナー」が今年も開講される。

地域社会に対する奉仕と啓蒙の  
ため、中小企業の経営者ほか一  
般社会人を対象とする「産業セ  
ミナー」が今年も開講される。

地域社会に対する奉仕と啓蒙の  
ため、中小企業の経営者ほか一  
般社会人を対象とする「産業セ  
ミナー」が今年も開講される。

地域社会に対する奉仕と啓蒙の  
ため、中小企業の経営者ほか一  
般社会人を対象とする「産業セ  
ミナー」が今年も開講される。

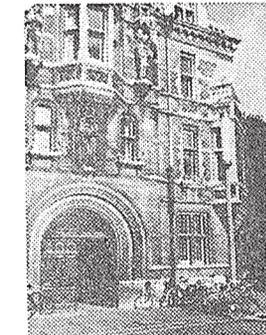
## 新刊紹介

大阪大を語る会編  
文学部教授 小山仁示解説  
『大空襲の記録』  
(二重堂・1000円)

情報伝達の時代、真に価値ある  
情報を取捨選択し、如何に利用す  
るかは研究者にとつて永久の命題  
である。ケミカル・アナリスト  
(O.A.)に収録されている、戦時  
に限定しても年間約五〇万冊、  
すなわち、一分間に一件の新しい  
情報が創造されており、その勢  
は増すばかり。現在第一線の研究  
者にとつても文献調査は容易では  
なく、ましてや研究者の卵である  
学生に適切な文献調査方法を教  
示することは至難の業であると言  
える。本書は、その序で述べられて  
いるように、研究を始める人達のた  
めに、化学文献にどんなものがある  
か、それが何から何までなのか、  
またどのようにして使うのかをわ  
かり易く説明したもので、最新の  
化学文献全般についての基礎的な  
入門書である。化学文献のあらま  
し、原著論文、特許、抄録・検索  
誌、総説、参考図書、機械検索の  
七章より成り、O.A.の解説に全体  
の約四分の一のページが割かれ  
ている。百言の解説は、この一冊に  
如かず。至極の極みである。

本学は、その序で述べられてい  
るように、研究を始める人達のた  
めに、化学文献にどんなものがある  
か、それが何から何までなのか、  
またどのようにして使うのかをわ  
かり易く説明したもので、最新の  
化学文献全般についての基礎的な  
入門書である。化学文献のあらま  
し、原著論文、特許、抄録・検索  
誌、総説、参考図書、機械検索の  
七章より成り、O.A.の解説に全体  
の約四分の一のページが割かれ  
ている。百言の解説は、この一冊に  
如かず。至極の極みである。

## ケンブリッジ大学



直近の「なるほど・サ・ワー」十九のケンブリッジからなる大学と  
「LD」の中で、岡崎友紀はケンブリッジに  
グス・カレッジの前に立ち、二 大 学 手 帳 には、二十五の学  
解 説 して いた。  
ロンドンの北一〇〇キロに所  
在する、四十近い学部、約二万  
の学生からなる総合大学。ほ  
どの学部・カレッジにも日本人  
学生がいる。「炎のランナー」  
の主人公が所属したゴンヴィ  
ル・キーズ・カレッジは、大  
学本部建物の横に建つ名門カ  
レッジのひとつである。  
(経済学部教授・橋本昭一)

## 世界の大学

学生用カレッジと、六つのグラ  
デュエイト・カレッジが記載さ  
れている。「天学登録者リス  
ト」を見ると、さらに四つの神  
学専門カレッジがあることがわ  
かる。

## 編集後記

五月、すべてのものが思っ  
き、未来への胎動が顕わにな  
る季節。この時期に、横溢す  
る生命感を喜びながらも、冷  
静に進路方向を自己点検する  
ことも必要であろう。それ  
は、各種の関係者との相互作  
用の中からたらされる点検  
も有効であろう。関西大学が  
公開講座、国際交流、相次ぐ  
技術革新(特に情報技術)な  
どに主体的かつ積極的に関与  
することは、このような内部  
的・外部的関係者との相互接  
触による相互点検を期待して  
のことであろう。五月十五日  
に開催される教育懇談会も同  
じような意義・機能をもっ  
ていると思われる。本号が大学  
と各種関係者との相互作用の  
一助になれば幸いである。  
(片山・広田(後))